

下水道管路施設包括的維持管理業務委託プロポーザル選考委員会
第1回 議事録

会議名称	下水道管路施設包括的維持管理業務委託 プロポーザル選考委員会（第1回）
開催日時	令和6年11月11日(月) 15:10～16:20
開催場所	松戸市役所 新館9階 入札室
出席者	[選考委員] 森田委員、川上委員、小沼委員 [事務局] 東山審議監、下水道維持課6名
資料	次第 公募型プロポーザル実施要領（案） 提案評価基準（案） 下水道管路施設包括的維持管理業務委託の導入効果について

議事概要

〔1〕下水道管路施設包括的維持管理業務委託の導入効果について

・資料を用いて説明。

〔2〕委員長及び副委員長の選任

・満場一致で委員長は森田委員、副委員長は小沼委員とする。

〔3〕公募型プロポーザル実施要領の審議

- ・維持管理計画の見直しは、4条の改築計画がまだ本格着手していないため、3条の維持管理計画を変更してもらうもの。
- ・管きよ清掃後の点検は、目視で確認できる範囲、そういったところの不具合の報告などをデータベースに残している。
- ・2巡目の鉄筋コンクリート管きよのカメラ調査は、中を見ないと状態はわからないため、清掃のように重みづけを行わず、全数実施している。
- ・提案者が1者の場合、6割以上は最優秀者とし、6割をきった場合は規定のとおり、再度の実施とする。
- ・住民対応の、受託者と職員の分担について。今は一度市で連絡を受け、内容の確認を行い、受託者に依頼をしている。今後、レベル3.5を導入する際には、窓口オペレーターなどを検討したい。

[4] 提案評価基準の審議

- ・事前に事務局が配点案を提案する項目は、以下とする。

評価対象	評価項目（配点）
業務実施能力	地域精通度(20)、受託実績(20)、技術力の確認(10)
業務提案内容	担当予定技術者の資格・経験(20)
コスト	参考見積金額の妥当性(135)

- ・配点案の提案根拠は、ヒアリング前に委員に説明を行う。
- ・法令違反の提案内容は、事務局で事前に確認を行い、改善を促す。
- ・4 ページ業務提案内容の担当予定技術者の資格・経験について、市が何を求めるかを事務局で整理を行い、配点案を提案する。
- ・4 ページ業務提案内容の業務実施体制、評価の着眼点 2 つ目、「従事する労働者の適正な労働条件の確保」について、提案者に市が求めている趣旨が伝わるように、書きぶりを工夫する。
- ・4 ページ業務提案内容の受託実績（配点 20 点）を、温暖化対策の項目（配点 10 点）、確実な引き継ぎ計画の項目（配点 10 点）に変更する。
- ・5 ページ業務提案内容の地域貢献に関する提案、評価の着眼点で「社会貢献」を「地域貢献」に修正。提案者に市が求めている趣旨が伝わるように、書きぶりを工夫する。
- ・表 1 の「評価の着眼点」にかかわる部分。選考委員がヒアリングで何を評価するかのポイントを、事務局案（別途採点基準シートを作成するイメージ）として、次回プロポーザル選考委員会までに、提示する。
- ・6 ページ評価点の算定方法、小数点以下第 3 位の四捨五入は今回必要ない。修正する。
- ・提案評価基準については、委員の意見をもとに事務局で修正を行う。委員が修正内容を議事録で確認し、それをもって承認とする。

※議場で回答できなかった民間の資格は、下記を想定しています。

- ・下水道管路管理総合技士
- ・下水道管路管理主任技士
- ・下水道管路管理専門技士（いずれも、日本下水道管路管理業協会）

[5] 選考結果の公表方法について

- ・選考結果の公表方法は、本市ホームページに掲載する。
- ・公表内容は、最優秀提案者名、総合評価点（技術評価点、価格評価点）とし、評価項目ごとの採点（内訳）は、公表しない。

[6] その他

- ・次回、ヒアリング実施日は、令和 7 年 1 月 29 日（水）14 時を予定。実施場所は後日、決定後にお知らせする。